

ノロウイルスによる感染について

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎は、例年 12 月中旬にピークを迎えますが、熊本県では 10 月から増加傾向にあり、今後急増するおそれがあります。

感染経路や症状、予防方法を正しく知ることが大切です。

感染経路	症状
〈食品からの感染〉 ● 感染した人が調理などをして汚染された食品 ● ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など 〈人からの感染〉 ● 患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ● 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	〈潜伏時間〉 感染から発症まで 24 ～ 48 時間 〈主な症状〉 ● 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が 1 ～ 2 日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ● 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 症状があるときに、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎ トイレに行ったあと
 - ◎ 調理施設に入る前
 - ◎ 料理の盛付けの前
 - ◎ 次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところを洗いぬいで
 - ◎ 指先、指の間、爪の間
 - ◎ 親指の周り
 - ◎ 手首

調理器具の

消毒

塩素消毒

洗剤などで十分に洗浄し、**塩素濃度 5 % の次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）**で浸しながら拭く。

※ エタノールや逆性石鹼はあまり効果がありません。

※ 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法も有効です。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ & A」をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ & A

検索

■ お問い合わせ先 健康推進課 健康推進係 TEL (62) 1111 (内線 122・123)